

第1回「外航海運税制に係る有識者検討会」

議事概要

日時:令和8年7月 21 日(火)15:00~17:00

場所:中央合同庁舎3号館 国土交通省 11 階特別会議室

議事:事務局資料を踏まえ、論点等を議論。委員からの主な発言は以下のとおり。

【主な発言】

- 今回のホルムズ海峡を巡る事案は、日本の輸出入における外航海運の重要性を改めて認識させるものであり、日本籍船と日本人船員の確保について税制面から後押しすることは非常に重要である。
- 現状、諸外国と比べて、日本籍船の取得や保有のコストが高いことが、外国籍船を選ぶという逆のインセンティブになっていると考えられ、登録免許税や固定資産税について諸外国の状況を参照しながら検討していくことが必要。
- 特に、毎年課される固定資産税については、諸外国と同様の水準を考えるべきであるとも考えられる一方、固定資産税の軽減については、自治体収入との関係が大きな課題となり、税収の減少に対する財源の確保が重要な観点となる。今回は、固定資産税の優遇措置との見合いで制度設計されている特別とん税の見直しも併せて考えるのであれば、両者のこれまでの関係を維持しながら考えていくことでいいのではないか。
- 経済安全保障の観点から、日本人船員の確保は重要な課題であり、諸外国の例も参考に、船員税制についても検討してよいのではないか。
- 日本商船隊の重要性はよく理解できたが、それだけではどの分野でも税制特例が必要といった話になるため、補助金といった手法ではなく、なぜ税制特例で対応する必要があるのかといった説明も準備することが必要である。
- 税制特例については、経済合理性を追求する企業ですら、自らが望む場合についてのみその効果が発揮されると考えているところ、個人である船員に対して、税制というインセンティブがどの程度の効果を持つのか疑問が残る。
- トン数標準税制について、船舶のような大きな投資をする場合、船舶運航事業者や船主にとって、経営の見通しや予測可能性を立てやすくする重要性は他分野とは比較にならないほど重要と認識。
- とん税や特別とん税について、昭和 39 年から見直しがされていないということであれば、

今の時代に即していない内容もあると考えられることから、急いで見直してもいいのではない。ただし、ホルムズ海峡の事案のみを踏まえて見直すということではなく、外航海運を取り巻く環境の変化全体を捉えて見直しを進めるべき。

- とん税・特別とん税について、港を利用する応益性や港への負担が、船のどういう要素で変わるのかを整理することも必要。開港所在地の市町村にどのような負担をかけて、それは船のどういう要素で決まるのかが、とん税を見直す方向性の手がかりになるのではない。
- イコールフィッティングの観点から、船舶運航事業者や船主の負担を減らしながら、日本籍船を増やす方向で税制を拡充できると良い。
- 昭和39年当時の状況を考えると、この時点ではコンテナ船に関して定期航路の運航も行われていない状態ということになる。時代の変化に合わせてとん税の見直しを進めることも必要と認識。その際には、地方港の寄港コストも変わってくるので、そのあたりの影響についても検討すべきではない。
- 今回のホルムズ海峡を巡る事案を踏まえて、改めて日本籍船の重要性が認識されたものと考えている。
- 450隻という目標について、平成19年当時は、少なくとも生活保護世帯の生活水準を日本全体について維持できるような最低限の数ということで設定したと認識しているが、今回のホルムズ海峡を巡る事案をはじめとして、今の情勢に沿ったものかどうかはよく考えないといけない。当時よりも今の方が、日本社会において外航海運が担う意味合いが重いことが広く認識されるようになっており、また、どのような影響が生ずるのが具体的にってきていることから、何かあった場合でも重要物資の輸送を確保するといった観点も踏まえ、450隻についても改めて考える必要があるのではない。
- 外航海運に関する税制を検討する際、国内社会での税の公平と、国際水準の制度という2つの異なる視点がある。主要海運国における船舶運航事業者や船主に対する税制上の優遇措置も踏まえて、国際競争に対応できるような日本の制度を構築すべきである。今回のホルムズ海峡や紅海の事情の経験を受けて、日本籍船の国際競争力を高めるという観点から税制を見直す必要がある。
- そうした意味で、日本のトン数標準税制は、他国と比較してイコールフィッティングになっていないと認識。昨今の状況を踏まえつつ、現状の税制の問題点を明らかにし対応を考える必要がある。特に外航海運に携わる幅広い関係者にとって、日本の税制をどのくらい魅力的なものにできるかという視点で考えることも重要。
- とん税や特別とん税の見直しについてもしっかりと進めることが必要。

以 上